

# 進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

## I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	神学研究科
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

### 【現状の説明】

#### 《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 教育目標に基づいたディプロマ・ポリシーを策定（設定）する。	→ディプロマ・ポリシーの明示・公開（2011年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映 [心得に掲載]）。	C
2. 学位授与基準、修了認定基準を明示する。	→学位授与基準、修了認定基準の明示・公開（2012年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映 [心得に掲載]）。	C
3. ディプロマ・ポリシーに基づいたカリキュラム・ポリシーを（設定）する。	→カリキュラム・ポリシーの明示・公開（2013年度までにWEB等の広報媒体、履修指導への反映 [心得に掲載]）。	C
4. 前期課程を修了し、伝道者（牧師、聖書科教師など）として働いている者が入学できるリカレント・プログラムを、博士課程後期課程において、ないし、外国の大学との協力により、設ける。	→学位の新設（規程改正）。	D

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

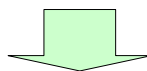
### 《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目6.1.1	(方針) [明文化に至っていない] (現状説明) 前期課程および後期課程のディプロマ・ポリシーについては、まだ具体的な明文化の検討がなされていない。部長室委員会および研究会委員会を軸に2011年度中に策定（設定）し、公開する予定である。
☆ 小項目6.1.2	(方針) [明文化に至っていない] (現状説明) 前期課程および後期課程のカリキュラム・ポリシーについては、まだ具体的な明文化の検討がなされていない。部長室委員会および研究会委員会を軸に2013年度までに策定（設定）し、公開する予定である。
☆ 小項目6.1.3	(現状説明) 神学研究科の教育目標は、理念・目的とあわせ、すでにWEBサイトにて公開されている。しかしながら、ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーについては、現段階で明文化の検討を開始するところである。
☆ 小項目6.1.4	(現状説明) ディプロマ・ポリシーおよびカリキュラム・ポリシーに基づいた学位授与基準、修了認定基準を明示するにあたって、あわせて検証の仕組みも整える予定であるが、現段階においては具体的な検討に至っていない。
☆ その他	

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



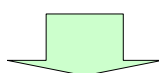
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
☆ 小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

☆ その他 (自由記述)	
-----------------	--

### Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○研究科である以上、学位授与方針や同基準が明文化されていない状況は看過できないので、早急な対応が必要です。

【学内委員】

○目標にもかかげ、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを策定されようとしています。これらは、今後の教育上の基本となるものですので十分な検討を通して、着実に且つ出来るだけ早急な策定を望みます。

○「学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行」における努力義務である「教育課程を通じて修得が期待される知識・能力の体系」についても、早急な対応が期待されます。

○現状説明において課題などもあがっていますが、効果が上がっている事項や改善すべき事項はありませんか。

○小項目6.1.4について、今後の検討プロセスを示しておくことが望まれます。

### Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

☆ なし

### Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

6.1.0.S1	カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度
6.1.0.S2	MDSプログラム履修者の全学生に占める割合
6.1.0.S3	ジョイント・ディグリー制度への参加者の全学生に占める割合
6.1.0.S4	専門教育、教養教育、外国語教育、情報教育等ごとの授業科目開設数
6.1.0.S5	必修・選択ごとの開設授業科目数
6.1.0.S6	系列別卒業必要単位数

<個別的な指標>
